

④

令和2年度
2月補正予算(案)のポイント

令和3年2月8日



令和2年度2月補正予算(案)のポイント

令和2年度2月補正予算(案) △84億4,287万円(一般会計38億1,148万円)

「新たな日常への対応」、「社会基盤整備」などの取組について、国の「15か月予算」の考え方と連動し、令和3年度当初予算と一体で予算を編成。

1 予算(案)の規模

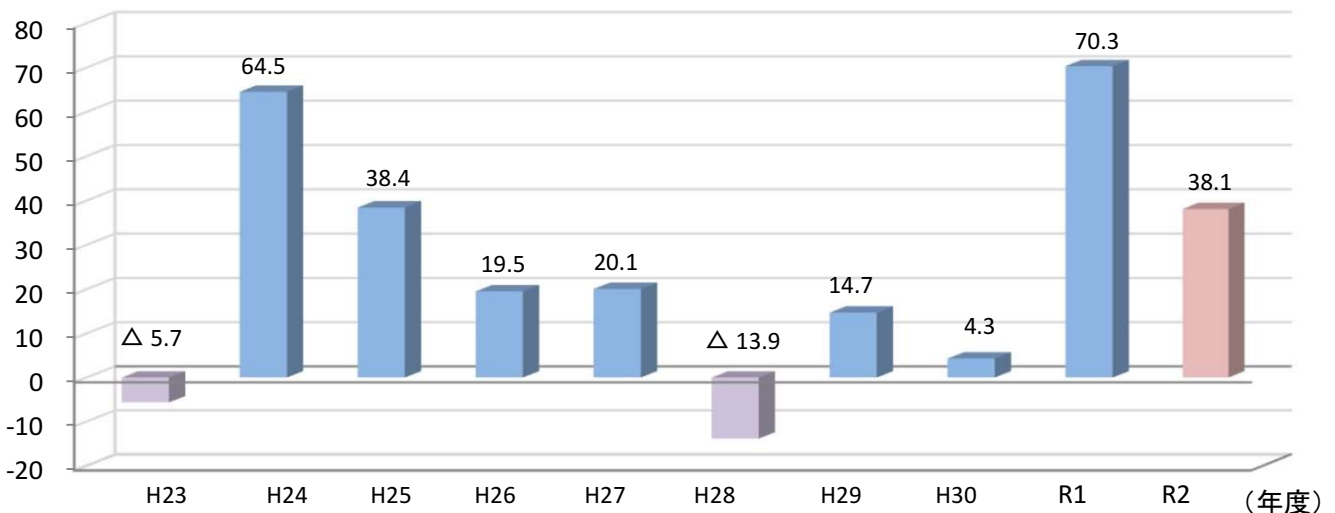
- ★ 今回の補正予算(一般会計)は、国・県の補正予算を活用した事業の経費として、総額約65億4千万円を計上。主な内訳として、新型コロナウイルス感染症を踏まえた「新たな日常への対応」で約38億1千万円、国の国土強靱化の推進に連動した「社会基盤整備」で約27億3千万円を計上。
- ★ このほか、一般会計では、病院事業会計や国民健康保険事業会計などへの繰出金(補助金)を約7億7千万円増額、補正予算で計上した新型コロナウイルス感染症対策事業等の決算見込み等により約17億8千万円を減額、人件費を約17億4千万円減額。
- ★ 特別会計では、主に競輪事業会計で日本選手権の開催中止により約127億7千万円の減額、介護保険事業会計で決算見込みによる給付費増により約4億8千万円増額。
- ★ 企業会計では、病院事業会計において医薬収益減による医薬品等の材料費の減などにより約10億円減額するほか、下水道事業会計において国庫補助金の認証増による下水道整備費の増などにより約8億2千万円増額。

(単位:千円)

区分	令和2年度 2月補正予算額	令和元年度 2月補正予算額	増減額	増減率(%)
一般会計	3,811,482	7,032,771	△ 3,221,289	△ 45.8
特別会計	△ 11,791,900	1,940,958	△ 13,732,858	△ 707.5
企業会計	△ 462,454	△ 186,348	△ 276,106	△ 148.2
合計	△ 8,442,872	8,787,381	△ 17,230,253	△ 196.1

一般会計2月補正予算額の推移

単位:億円



2 予算(案)の財源

- ★ 特定財源は、国の補正予算を活用した事業の実施に伴い、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの国庫支出金や市債を増額するとともに、地震・津波対策促進費交付金の交付額確定などによる県支出金を増額するほか、基金の取崩しの回避による繰入金などを減額。
- ★ 一般財源は、減収が見込まれる地方消費税交付金などを減額する一方、減収補填債を活用するほか、令和元年度の決算剰余金(繰越金)を増額。

3 主要事業のポイント

(A) 新たな日常への対応

3,811,425 千円

① 市民の安全・安心の確保

2,582,361 千円

- ★ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、市民の生命及び健康を守るため、ワクチン接種を実施。
- ★ コロナ禍の最前線で感染症に対応している公的病院等における医療提供体制の確保に対する支援を実施。

(主な事業)

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 新型コロナウイルス ワクチン接種事業 (財源:国庫負担金 10/10、 国庫補助金 10/10、 地方創生臨時交付金)	市民への新型コロナウイルスワクチン接種に向け体制を整備し、ワクチン接種を実施 1 ワクチン接種体制確保事業 ・実施内容 ワクチン接種に関するコールセンター業務、ワクチン接種の接種券の発送業務、ワクチン接種の予約受付業務 など 2 ワクチン接種事業(集団又は個別接種) ・接種開始 令和3年3月下旬～(予定) ・接種場所 調整中 ・接種規模 令和2年度 約109,000件 令和3年度 約1,291,000件 ※ワクチン接種は、医療従事者、高齢者、基礎疾患がある人等から実施予定	1,283,000
2 病院事業助成 (財源:地方創生臨時交付金)	市立及び公的病院における新型コロナウイルス感染症に対応した医療提供体制の確保に対する支援 1 公的病院事業費助成 340,000千円 ・交付先 静岡赤十字病院、静岡済生会総合病院、静岡厚生病院、清水厚生病院 ・対象経費 救急告示病院(24時間365日救急車の受入を行う旨県知事に届出をしている病院)での発熱患者等受入に対応するためのかかり増し経費 2 新型コロナウイルス感染症重症患者対応体制整備事業費助成 223,000千円 ・交付先 静岡市立静岡病院 ・対象経費 重症患者等への医療提供体制の確保に必要な人件費 3 清水病院運営費助成 33,000千円 ・交付先 静岡市立清水病院 ・対象経費 新型コロナウイルス感染症に対応するためのかかり増し経費	596,000



ワクチン接種のイメージ

★国・県と連動して、子育ての負担や収入の減少に対する支援を実施するとともに、継続して相談体制を確保。

(主な事業)

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
3 ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業 (財源:国庫補助金 10/10)	<p>低所得のひとり親世帯を支援するため、臨時特別給付金(一時金)を再支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 ①～③のいずれかに該当し、基本給付を受けた者、又は、受ける者 <ul style="list-style-type: none"> ①令和2年6月分の児童扶養手当受給者 ②公的年金等の受給により児童扶養手当の支給を受けていない者 ③直近の収入が、児童扶養手当の対象となる水準に下がった者 ・対象世帯 約4,800世帯 ・給付額 1世帯5万円 第2子以降3万円/人 ・給付時期 令和2年12月～令和3年3月 	210,000
4 妊産婦総合対策事業 (財源:国庫補助金 1/2、 地方創生臨時交付金、 県補助金 10/10)	<p>胎児・新生児の健康等について不安を抱えている妊産婦に対する支援を実施</p> <p>1 分娩前のPCR検査等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 強い不安を抱えている、または基礎疾患等を抱えている妊婦で検査を希望する者 ・対象者数 約4,400人 ・検査時期 原則、分娩予定日の2週間前 <p>2 新型コロナウイルス感染後の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 新型コロナウイルスに感染後、電話相談等の支援を希望する妊産婦 ・支援内容 助産師又は保健師による電話相談、訪問支援 	96,208
5 新型コロナウイルス感染症 なんでも相談ダイヤル運営事業 (財源:地方創生臨時交付金)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による、医療・生活・福祉・経済などのあらゆる相談を総合的に受け付ける「新型コロナなんでも相談ダイヤル」の開設期間を延長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日(土・日・祝日を含む) 9:00～20:00 ・実施体制 管理者1名、受付員2名予定 ・実施内容 新型コロナウイルス感染症全般の相談対応 専門窓口への案内 	33,000



★感染症に負けない健康づくりを目指すとともに、検診・治療等の経済的負担を軽減。

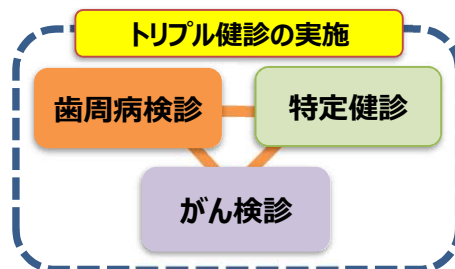
(主な事業)

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
6 はつらつスマイル推進事業 (財源:地方創生臨時交付金)	<p>「感染症に負けない健康づくり」を目指し、慢性疾患の危険因子である歯周病に対する対策を実施</p> <p>1 トリプル健診 ・特定健診・がん検診・歯周病検診の同時受診が可能なトリプル健診の実施 ・特定健診、がん検診を同時受診した者に歯周病検診の自己負担額(600円)を無料にするクーポン券を配布</p> <p>2 オーラルフレイル普及啓発 歯科診療所や高齢者の通いの場において、啓発を兼ねたアンケート調査を実施 ・実施箇所 歯科診療所 約300箇所 S型デイサービス会場 約50箇所</p> <p>3 中小事業所における歯科健診等の促進 かかりつけ歯科医に繋がる取組として、中小事業所に歯科医師・歯科衛生士を派遣 ・対象 従業員50人以下の事業所 ・実施数 6箇所</p>	10,210
7 不妊治療費助成 (財源:地方創生臨時交付金、 県補助金 1/2)	<p>不妊・不育症治療の経済的負担を軽減するための治療費助成を拡充 ※一部年齢制限あり</p> <p>1 特定不妊治療(体外受精等) ※拡充あり ・上 限 額 新鮮胚移植等 1回30万円 (拡充前:1回目30万円、2~3回目20万円、4回目以降15万円) 冷凍胚移植等 1回10万円 (拡充前:1回7.5万円) ・助成回数 子ども1人につき6回まで (拡充前:生涯6回まで)</p> <p>2 一般不妊治療(人工授精治療) ※拡充なし ・上 限 額 6.3万円(治療費の7割まで)</p> <p>3 不育症治療 ※拡充なし ・上 限 額 1年度につき10万円 (保険適用治療等の自己負担額の1/2)</p>	9,100



オーラルフレイル
普及啓発事業



はつらつスマイル推進事業イメージ



中小事業所における
歯科健診等の促進

② 地域経済の活性化と賑わいの創出、分散化社会への対応

869,193 千円

- ★会食自粛の影響を受けている飲食業者及び関連業者に対して支援金を支給し、市内の飲食業界を支援。
- ★「生活(くらし)のLife」を取り戻すため、消費活動の活性化や観光需要の喚起を目的とした地域や団体等が実施する取組を支援。

(主な事業)

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 エール静岡飲食業界支援金 支給事業 (財源:県補助金1/2)	飲食店等へ事業継続のための支援金を支給 ・対象者 飲食店及び関連業者 約5,000事業所 ・支給額 1事業所あたり10万円 ・申請受付 令和3年2月中旬開始(予定) ・支給時期 令和3年3月上旬(予定)から順次	500,000
2 地域消費促進事業費助成 (財源:地方創生臨時交付金)	商店街団体等が実施するクーポンの発行等の消費促進事業に係る経費に対する助成 ・対象者 構成員の60%以上がキャッシュレス決済を導入している商店街団体、商業者グループ 30団体程度 ・対象事業 クーポンの発行等の消費促進事業 ・補助率 インセンティブ原資 10/10 事務経費等 2/3 ・上限額 キャッシュレス決済を導入済の場合 1店舗あたり10万円 未導入の場合 1店舗あたり5万円	120,000
3 地域型宿泊誘客事業費助成 (財源:地方創生臨時交付金)	市内宿泊事業者を中心に組織された団体が、地域や事業者の課題等に応じて実施する誘客事業に係る経費に対する助成 ・対象者 ホテル旅館組合など、市内宿泊事業者を中心に組織された団体 ・対象事業 観光誘客のためのインセンティブ事業 宿泊客受入のための環境整備事業 市場環境の変化に対応した情報発信事業 ・補助率 インセンティブ原資 10/10 事務経費・環境整備事業等 2/3 ・上限額 団体内の宿泊施設定員数に応じて設定	50,000



地域消費促進事業費助成のイメージ

★ 交流人口の回復を図るため、賑わい創出イベントや全国大会等の開催助成を拡充するとともに、教育旅行モニターツアーを実施。

(主な事業)

(単位:千円)

事業名		主な概要	金額
4	賑わい創出イベント感染症対策事業費助成 (財源:地方創生臨時交付金)	まちは劇場推進のための賑わい創出イベント開催等に必要感染症対策にかかる経費を助成 ・補助対象 運営費、会場設営費、警備費のうち、感染症対策に必要なかかり増し経費 ・補助率 10/10 (上限額 10,000千円)	61,500
5	全国大会等開催事業費助成 (財源:地方創生臨時交付金)	全国的・国際的規模の会議・大会等の誘致を進めるとともに、スポーツ大会等の早期再開を促すため、感染症対策に係る経費を助成 ・交付先 市内で開催される大会・会議等の主催者 ・対象経費 消耗品・備品の購入費や機材の賃借料等のうち、感染症対策に必要なかかり増し経費 ・補助率 1/2 (上限額 1大会あたり10万円)	6,400
6	教育旅行誘致事業 (財源:地方創生臨時交付金)	首都圏等への教育旅行が困難となった地域の学校等に対し、本市を行程に含む教育旅行を促すためのモニターツアーを実施 ・対象 対象地域の教員・旅行会社社員等 ※山梨県、長野県等を予定 ・回数 4回程度(各回20名程度)	3,200



写真: 大道芸ワールドカップ実行委員会

- ★地域経済の活性化に向け、新たなビジネスを創出するため、市内企業と学生、首都圏企業等との交流・共創を推進。
- ★首都圏企業の誘致を促進するため、新しい働き方の体験を支援するとともに、移住者や移転企業の受入体制を充実。

(主な事業)

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
7 MoveToしずおか 「コ・クリエイションスペース」 創出事業 (財源:地方創生臨時交付金)	産学官金による交流・共創の場の提供と人が集まる仕掛けづくりを実施 ・開設時期 令和3年7月予定 ・開設場所 産学交流センター「B-nest」内 ・利用可能日 スペース利用 週6日予定 コミュニティマネージャー常駐 週3日予定 ・実施内容 個別マッチング セミナー、ワークショップ等の交流会 共創・異分野連携フォーラム 等	25,840
8 MoveToしずおか 「新しいビジネス様式」 支援事業 (財源:地方創生臨時交付金)	市内シェアオフィスの入居への支援 ・対象者 本市に拠点を有していない県外企業 ・対象経費 賃借料(1か月分) 実費 宿泊費(1か月分) 上限日額 7,200円 交通費(1往復分) 上限 12,000円 ・対象期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日	12,260
9 まちごとテレワーク推進事業 (財源:地方創生臨時交付金)	首都圏からの移住・移転を促進するため、官民連携によりテレワーク環境の拡充を図り、まち全体で受入基盤を強化 1 テレワーク・ワーケーション体験事業 市内テレワーク・ワーケーション施設の体験への支援 ・対象者 首都圏企業、個人事業者 ・対象経費 交通費、施設利用料 ・対象期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 2 在宅勤務が可能なお試し住宅の増設 ・場所 船原団地 1戸追加(合計2戸) 3 マーケティング戦略に基づくプロモーション ・本市の優位性を活かしたプロモーション活動の実施 (PR動画制作、web広告など)	20,000
10 SDGs連携加速化支援事業 (財源:地方創生臨時交付金)	地域課題の解決に向け、複数の事業所・団体が連携したSDGs推進の取組に対する表彰制度を創設 ・対象 2以上の事業所・団体が構成されるグループ ・表彰方法 表彰状と賞金(大賞25万円)を授与 ・選考方法 5部門(環境、経済、ユース、コロナ対策、その他)において、有識者、公募市民等で構成する委員会が選考 ※取組を事例集としてとりまとめ、SDGsシンポジウムで情報発信	5,000

③ ICTなどを活用した社会の効率化

359,871 千円

★教育環境の充実や行政サービスの利便性の向上を図るため、新しい日常に対応したICT環境を整備。

(主な事業)

(単位:千円)

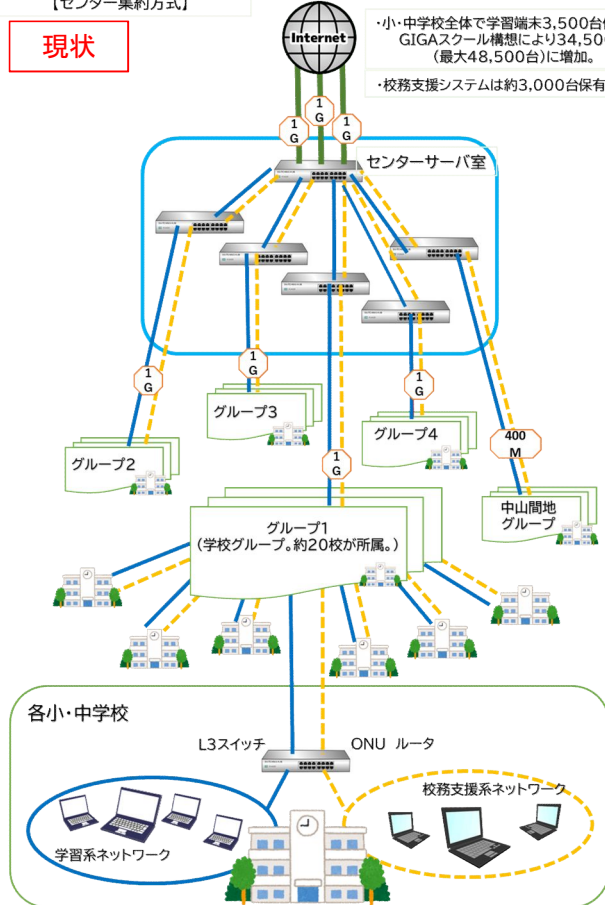
事業名	主な概要	金額
1 ICT教育環境整備事業 (財源:国庫補助金 10/10、1/3、 地方創生臨時交付金、 市債)	児童生徒1人1台のパソコン配備に向けた環境整備 1 ローカルブレイクアウトのための施設整備事業 小・中学校における通信の集中によるネットワーク障害の解消を図るための整備を実施 2 学習用情報機器貸与事業 低所得世帯等の生徒へ、学習用端末及び通信機器(モバイルルータ)の貸与を実施 ・対象校 市立高等学校 市立清水桜が丘高等学校 ※ローカルブレイクアウト データセンターを経由せずに、通信の一部を直接インターネットに接続する手法	260,398
2 同報無線デジタル化整備事業 (財源:地方創生臨時交付金)	同報無線を現在のアナログ方式からデジタル方式に更新するため、基本設計を実施 ・実施内容 現地踏査 机上・音達シミュレーションなど ・整備スケジュール 令和3年度 基本設計業務 令和4年度 実施設計業務 令和5年度～7年度 施工及び既存設備の撤去	16,500
3 新清水庁舎あり方検討事業 (財源:地方創生臨時交付金)	行政のデジタル化や感染症対策に対応した新清水庁舎のあり方を調査・研究 ・行政サービスのデジタル化の調査 ・執務空間のあり方の調査 ・他都市・来庁者の実態調査 ・基本構想の見直し検討	12,000
4 行政サービス利便性向上事業 (財源:地方創生臨時交付金)	行政サービスの利便性の更なる向上を図るとともに、行政のデジタル化の恩恵を多くの世代が受けられるよう、情報通信機器の体験会などを実施 1 行政手続ガイド(行政手続を分かりやすく案内する電子サービス)の拡充 ・追加分野 窓口での手続が多い福祉、子育て分野 2 市民の情報リテラシー向上事業 ・対象者 主に高齢者世代など ・開催内容 スマートフォンやタブレットなど情報通信機器を使用した体験会、講習会 ・開催場所 S型デイサービス会場、生涯学習施設など	5,200

静岡市教育系ネットワークの現状
【センター集約方式】

現状

インターネット

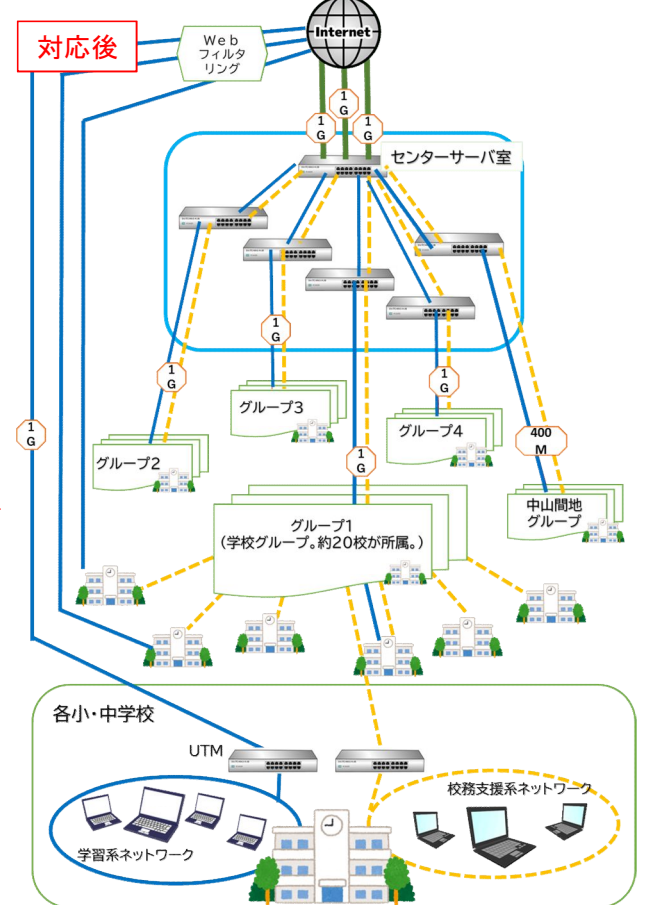
・小・中学校全体で学習端末3,500台保有中。
GIGAスクール構想により34,500台
(最大48,500台)に増加。
・校務支援システムは約3,000台保有。



【インターネットブレイクアウト方式】

インターネット

対応後



ローカルブレイクアウト施設整備のイメージ

同報無線 システムの概要とデジタル化に伴う機能の拡張 (全体像)



同報無線デジタル化のイメージ

(B) 社会基盤整備

2,732,800 千円

- ★市民の安全安心の確保のため、道路整備事業を推進するとともに、国・県が実施する道路、港湾整備などにかかる経費を負担。
- ★市民のレクリエーションや憩いの場を確保するため、公園や自転車休憩施設等を整備。

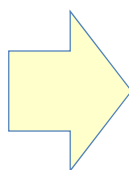
(主な事業)

(単位:千円)

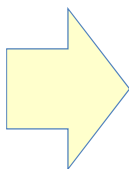
事業名		主な概要	金額
1	道路新設改良事業 (財源:国庫補助金 5.5/10、1/2、市債)	国県道及び市道における道路新設改良事業の実施 ・(主)井川湖御幸線(葵区下～松富上組) ・(主)清水富士宮線(清水区庵原町～伊佐布)など7路線	545,000
2	街路整備事業 (財源:国庫補助金 5.5/10、1/2、市債)	市街地の交通基盤の整備 ・静岡駅賤機線(葵区松富二丁目) ・日出町高松線(駿河区八幡四・五丁目) ・一里山長崎線(清水区七ツ新屋一・二丁目)	507,400
3	国直轄道路事業負担金 (財源:市債)	国が施工する国道整備事業の事業費増を見通した負担金の増額 ・(国)1号(清水区横砂東町～八坂西町) 静清バイパス清水立体事業	500,000
4	道路舗装整備事業 (財源:国庫補助金 1/2、市債)	道路舗装の打換え事業の実施 ・(国)362号(葵区谷津)など10路線	400,000
5	交通安全施設整備事業 (財源:国庫補助金 5.5/10、市債)	自転車走行空間整備事業の実施 ・(県)富士由比線(清水区由比)など3路線 無電柱化推進事業 ・(主)山脇大谷線(駿河区大谷一・二丁目)	156,000
6	橋りょう整備事業 (財源:国庫補助金 5.5/10、市債)	道路橋補修事業の実施 ・(国)150号(用宗高架橋) ・(主)山脇大谷線(長沼大橋)	148,000
7	サイクルツーリズム拠点整備事業 (財源:国庫補助金 1/2、市債)	蒲原地区の活力ある地域づくりのため、(国)1号隣接地に自転車休憩施設等を整備 ・整備内容 自転車休憩棟、トイレ棟、屋外屋根付き広場など	140,000
8	公園整備事業 (財源:国庫補助金 1/2、市債)	公園の施設整備及び長寿命化対策の実施 ・日本平公園 芝生広場整備(5,230㎡) 電線地中化整備(L=125m) ・あさはた緑地 湿地木道(L=90m) ・瀬名茶ノ木田公園など7公園 遊具等公園施設の更新 16施設	132,000

(単位:千円)

事業名		主な概要	金額
9	道路自然災害防除事業 (財源:国庫補助金 1/2、市債)	道路法面等の防災対策の実施 ・(主)南アルプス公園線(葵区大間) ・(県)三ツ峰落合線(葵区落合)	97,000



街路整備事業の例(静岡駅賤機線)



交通安全施設整備事業(無電柱化推進事業)の例



(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布)の工事状況



あさはた緑地の全景